

しもきた
下北半島縦貫道路
のへじ しちのへ
野辺地～七戸

計画段階評価
第3回 説明資料

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 第2回意見聴取の結果
3. 対応方針（原案）の検討
4. 自治体への意見照会結果
5. 対応方針（案）のまとめ

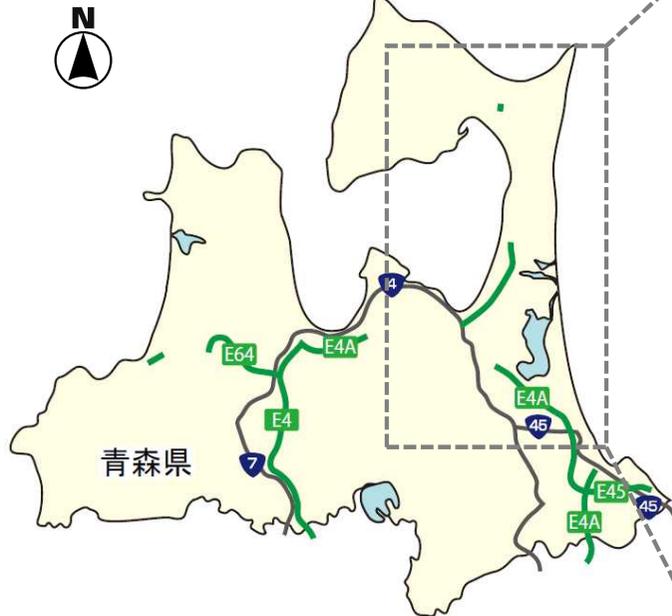
令和3年6月25日
国土交通省 東北地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 評価対象区間

- ◆ 下北半島縦貫道路は、下北地域の中心都市であるむつ市を起点に、東北縦貫自動車道八戸線と接続する計画延長約60kmの地域高規格道路。
- ◆ 対象区間は下北半島縦貫道路と東北縦貫自動車道八戸線の接続部である「^{のへじ}野辺地^{しちのへ}～七戸」の約7km区間。

【図1】広域図



【図2】詳細図



0 5km 10km

1-2. 前回(第2回)審議内容

■第33回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日:令和3年2月12日(金)開催

- 主な議事: ①計画段階評価の検討の流れ
 ②第1回地域の意見聴取結果の確認
 ③政策目標の設定
 ④対応方針(ルート帯案)の検討
 ⑤第2回地域の意見聴取の方法

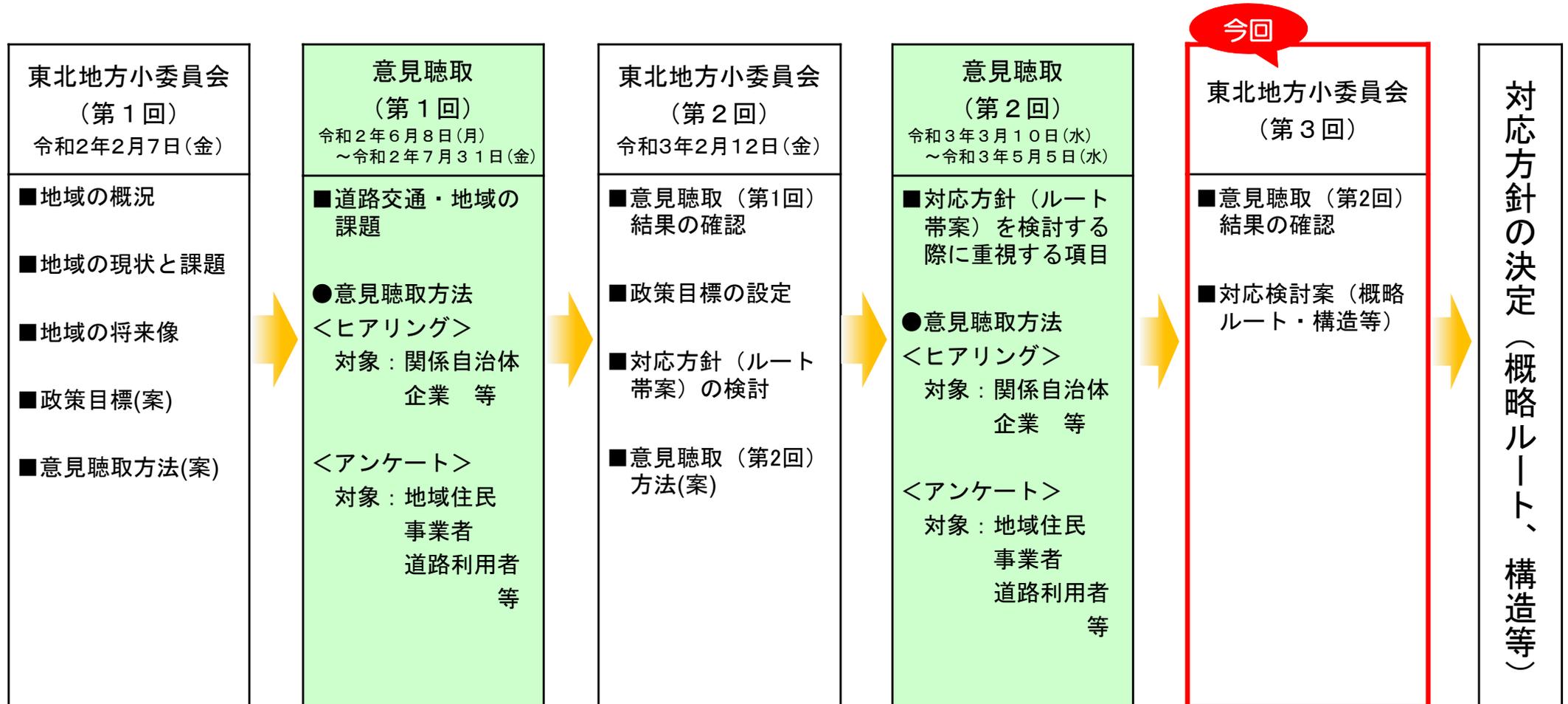
【表1】前回審議における主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体への意見聴取では、事業者としての回答を得られるよう工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票に「企業としての回答」を記入いただくよう記載。(P8)
<ul style="list-style-type: none"> ・むつ市内の事業所や下北ジオパークの事務局等へのヒアリングも検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所ヒアリング調査先として、むつ市の物流事業者(6社)や、むつ市ジオパーク推進課を追加。(P6)
<ul style="list-style-type: none"> ・地吹雪を考慮した道路計画となるように配慮すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれのルート帯案(別線整備案、現道活用案)も、地吹雪の影響を考慮して検討。

1-3. 今後の計画段階評価の進め方(案)

◆ 地域住民・事業者・道路利用者の意見を聞きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

計画段階評価



地方小委員会

2. 第2回意見聴取の結果

2-1. 第2回意見聴取の実施内容

◆ 地域の意見聴取(第2回)は、地域住民・事業者・道路利用者へのアンケート調査、および関係団体へのヒアリング調査を実施。

1. 意見聴取期間

令和3年3月10日(水)～令和3年5月5日(水)

2. 意見聴取の対象

【表1】アンケートによる意見聴取の対象

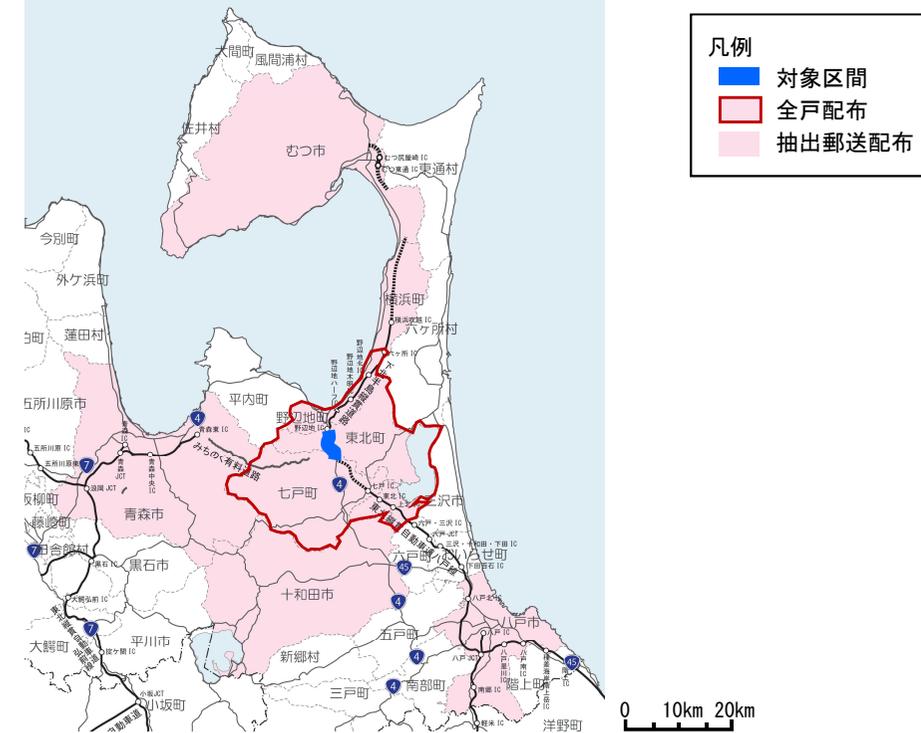
調査対象者		調査手法・規模
地域住民	・野辺地町、七戸町、東北町	・対象地域に広報紙折り込みで全戸配布 (16,310世帯)
	・青森市、八戸市、十和田市、むつ市、 横浜町	・対象区間の利用が多い地域を対象に抽出郵送配布 (20,030世帯)
事業者	・対象区間の利用企業 ・上北地域の企業	・第1回意見聴取対象企業 (120事業所) + 23事業所※を対象 ※第1回意見聴取から追加
道路利用者	・広域の道路利用者	・WEB ・留置き (47箇所)

【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

関連団体ヒアリング調査：45+17社・団体※ ※第1回意見聴取回答団体を基本とし、関連自治体、観光協会・運送事業者を追加		
・自治体 (1市4町2村) ・県 (1県) ・農業関連団体 (3団体) ・漁業関連団体 (4団体) ・林業関連団体 (1団体) ・木材加工業者 (2社)	・製造業者 (1社) ・商工会議所 (3団体) ・トラック協会(1団体) ・観光協会等 (6団体) ・消防機関 (2団体) ・医療機関 (2団体)	・警察機関 (2団体) ・バス事業者等 (4社) ・学校 (3団体) ・物流業者 (17社) ・福祉事業者 (3社)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ヒアリング調査は訪問形式ではなく、調査票の郵送配布・回収、電話による補足聞き取りにより実施

＜アンケート配布範囲＞



【表3】回収箱設置箇所

国土交通省	青森河川国道事務所、 八戸国道出張所、 十和田国道維持出張所	七戸町	七戸町役場、 七戸町役場七戸庁舎、 七戸中央公民館、 七戸中央図書館、 七戸町観光交流センター、 七戸十和田駅	十和田市	十和田市役所、 十和田市東コミュニティセンター、 十和田市民図書館、 市民交流プラザ トワール
青森県	青森県庁、 上北地域県民局、 下北地域県民局、 東青地域県民局、 三八地域県民局	東北町	東北町役場、 東北町役場東北分庁舎、 東北町立図書館、 東北町中央公民館、 東北町町民文化センター	むつ市	むつ市役所、 むつ市役所川内庁舎、 むつ市役所大畑庁舎、 むつ市役所脇野沢庁舎、 ウェルネスパーク、 むつ市中央公民館、 むつ市立図書館、 むつ来さまい館、 むつつ北観光物産館まさかりプラザ
道の駅	しちのへ、 おがわら湖、 浅虫温泉、 よこはま	青森市	青森市役所駅前庁舎 青森市民図書館		
野辺地町	野辺地町役場、 野辺地町中央公民館、 野辺地町立図書館、 野辺地町観光物産PRセンター	八戸市	八戸市役所、 八戸市役所分庁舎、 八戸市立図書館	横浜町	横浜町役場、 横浜町ふれあいセンター

※留置アンケートについては、上記施設にアンケート調査票・回収箱を常設した。

2-2.地域の意見聴取(第2回)のアンケート回収状況

- ◆ 地域住民へのアンケートは、野辺地町、七戸町、東北町に全戸配布、青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜町で抽出配布を行なった他、WEBアンケート・留置アンケートを実施し、全体の回収数は10,171票、広報紙・抽出郵送配布における世帯単位での回収率は15%となった。
- ◆ 事業者へのアンケートは、対象区間の利用企業、沿線自治体の主要企業を対象に行い、回収数は75票、事業所単位での回収率は31%となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

分類	配布方法	配布数	回収数	回収率
地域住民・ 道路利用者	広報紙・抽出郵送配布	36,340 (72,680)	5,443 (8,087)	15% (11%)
	留置き	—	359 (586)	—
	WEB	—	1,498	—
	合計	—	7,370 (10,171)	—
事業者	郵送配布	143 (286)	44 (75)	31% (26%)

※アンケートにはハガキを2枚添付、回収数・回収率は、配布したアンケートのうち1枚目の回収数・回収率、()内は1枚目・2枚目を合計した数

2-3. 第2回意見聴取に対する広報の実施状況

- ◆ アンケート調査として、調査票の住民への配布、留め置きに加え、WEBアンケートを実施。
- ◆ 調査の周知に向けて、新聞広告や自治体広報・HPの掲載を実施。

【表1】地域の意見聴取内容

- 回答者属性(年齢、職業、性別、住所)
- 問1 国道4号の利用状況(目的、頻度、手段) (選択)
- 問2 対策案を検討する際に重視すべきと思われる項目について (選択)
- 問3 重視すべきと思われる理由について (自由)
- 問4 その他重視すべきと思われる項目について (自由)
- 問5 アンケートを知ったきっかけについて (選択)

【図3】新聞広告

下北半島縦貫道路(野辺地町～七戸町間)の計画検討に関するアンケート(第2回)を実施しています。

調査期間: 令和3年 5月5日(水)まで

速信はがきによる回答

インターネットによる回答

【アンケート回収ボックス設置場所】

青森県川国道事務所 調査第二課

〒017-734-4570 http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/

【図4】自治体広報・HP

下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)のアンケート調査実施中

国土交通省 青森河川国道事務所では、下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)の計画に向けて、アンケート調査を実施しています。皆さんのご意見をお聞かせください。

●期間: 5/5(水)まで

●回答方法: 4月号広報紙掲載の調査票から返信用ハガキを切り取り、郵便ポストに投函してください。

インターネットによる回答も可能です。青森河川国道事務所ホームページ内にある下記ページから回答できます。

【https://www.thr.mlit.go.jp/aomori/】

【https://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/shimokita/jyukan/questionnaire.html】

【意見募集 5/5】

また、公園、広場などの公共施設等においても回収ボックス(箱)を設置してありますので、そちらへの投函も可能です。

※設置箇所の詳細は下記へお問い合わせください。

●問合せ: 青森河川国道事務所 調査第二課 017-734-4570

●お問い合わせ先

- 郵政へのハガキ
- 観光イベント (202)
- 観光イベント (202)
- その他のお知らせ (30)

●お問い合わせ先

- すべて
- 2021年 (33)
- 2020年 (104)
- 2019年 (65)
- 2018年 (32)

人口と世帯数

人口 12,812人
(男) 5,996人
(女) 6,816人
世帯 4,641世帯

2021年03月31日現在 (住民基本台帳)

ウェブで簡単にさと前報

さとふる

広報のへび 広告掲載募集中

【図5】自治体広報紙

下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)～アンケートにご協力ください～

●実施期間 5月5日(水)まで

●回答方法 今月号に挟んでいる封筒に、アンケートはがきが入っています。切り取って記入し郵便ポストに投函してください。(切手は不要です) または、インターネットでも回答出来ます。 http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/shimokita/jyukan/

国土交通省では、下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)道路整備の計画検討にあたり皆様のご意見をお聞きするアンケートを実施しています。皆様のご協力をお願いします。

●実施期間 5月5日(水)まで

●回答方法 今月号に挟んでいる封筒に、アンケートはがきが入っています。切り取って記入し郵便ポストに投函してください。(切手は不要です) または、インターネットでも回答出来ます。 http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/shimokita/jyukan/

(広報のへび2021年4月号)

下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)～アンケートにご協力ください～

下北半島縦貫道路(野辺地町～七戸町間)のご意見募集 5/5(水)まで

国土交通省では、下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)の道路整備の計画検討にあたり、皆さまのご意見をお聞きするアンケートを実施していますのでご協力をお願いします。

▶実施期間…5月5日(水)まで

▶回答方法…

今月号と一緒に配布する封筒に、アンケートはがきが入っています。切り取って記入し郵便ポストに投函してください(切手は不要)。また、インターネットでも回答できます。

(URL) http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/shimokita/jyukan/

下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)のアンケートにご協力ください

国土交通省では、下北半島縦貫道路(野辺地～七戸)の整備計画の検討にあたり、皆さまのご意見を聞くためアンケートを実施しています。ご協力をお願いします。

回答締切 5月5日(水)

回答方法 広報紙のへびとともに配布されている封筒に、アンケートはがきが入っていますので、切り取って記入し郵便ポストに投函(切手不要)するかまたはウェブサイト(http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/shimokita/jyukan) でご回答ください。

○問合せ先 青森河川国道事務所 調査第二課 ☎017-734-4570

(広報紙のへび2021年4月)

【図1】配布形式調査票

第1回アンケートで得られた地域の意見や要望について、ご意見をいただきました。下北半島縦貫道路(野辺地町～七戸町間)の道路計画に関するご意見をお聞かせ下さい!!

全5問 5分程度です

アンケート調査票

本アンケートにつきましては、企業(または部署)としてのご回答をお願いします。

事業所アンケートは、依頼文に企業としてのご回答をいただくように記載

【図2】WEBアンケート

アンケート回答入力ページの下にあります。ご協力をお願いします。

全5問 5分程度です

アンケートの回答入力はこちらから

アンケート回答

下記の場所に設置しているアンケートハガキでもご回答いただけます。その場の回収ボックスまたは郵便ポストへ投函ください。

●締切 令和3年5月5日(水)

アンケートに関するお問い合わせ先
(平日 9:00～17:00)
青森河川国道事務所 調査第二課
TEL 017-734-4570

(青森河川国道事務所HP)

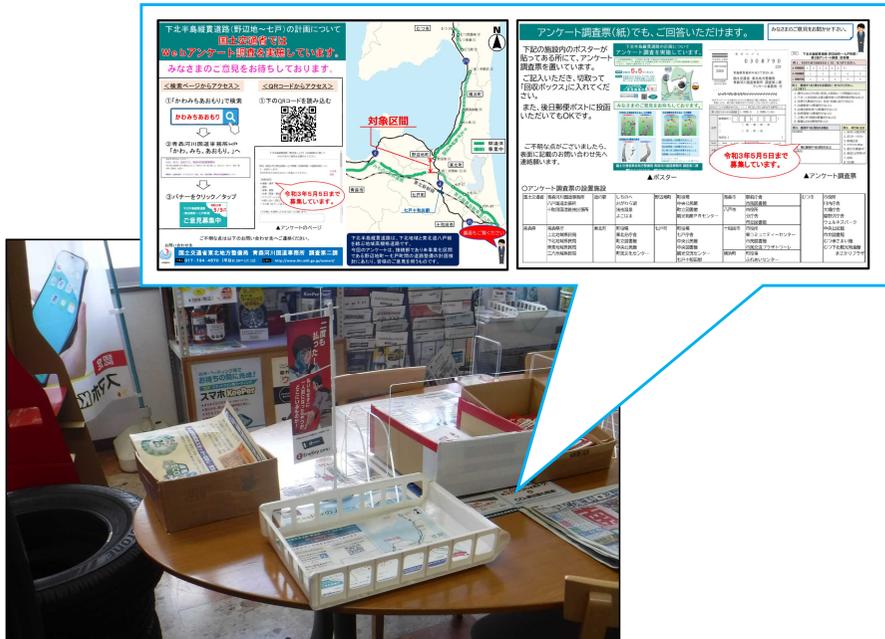
事業所アンケートは、依頼文に企業としてのご回答をいただくように記載

2-3. 第2回意見聴取に対する広報の実施状況

◆ 調査の周知に向けて、ガソリンスタンドでのチラシ設置、SNS等を活用した広報を実施。

【写真1】ガソリンスタンドに周知チラシを設置

下北地域、上北地域の63箇所に設置して周知



(チラシ設置状況)

【図2】SNSを活用し広報

河川国道事務所や自治体のFacebook、Twitterでアンケート協力依頼を掲載



(東北町Twitter)

(東北町Facebook)

【図1】新聞で記事掲載

地元紙でアンケート実施の記事が掲載

下北縦貫道の整備案
野辺地―七戸ルート
沿線住民の意向調査
国土交通省、来月5日まで

国土交通省青森河川国道事務所は、下北半島縦貫道路野辺地町―七戸町間(約7.7キロ)のルート案検討で、地域住民アンケートを実施している。5月5日まで、同区間ではバイパスを新規に整備する案と、両町を結ぶ国道4号を拡幅する案の2案が提示されている。アンケートでは、ルートを検討する上で重視すべき項目について選択式で回答を求めている。

アンケートは沿線の野辺地、七戸、東北3町の計約2万世帯に全戸配布しているほか、同区間の利用が多い八戸、十和田、むつ、青森、横浜5市町の約2万世帯を抽出して郵送している。問い合わせは青森河川国道事務所調査第一課☎電話017(734)4570へ。

(令和3年4月23日・デイリー東北17面)



(河川国道事務所Twitter)



(野辺地町Facebook)

2-4. 第2回意見聴取の実施状況(ヒアリング調査)

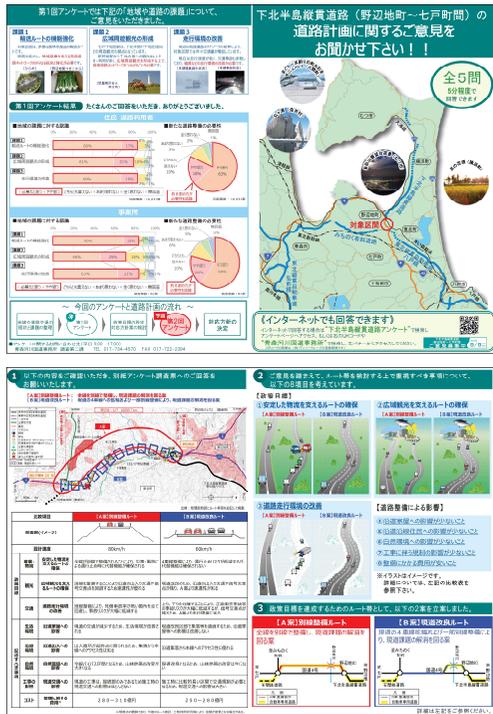
- ◆ 沿線自治体等の関係団体に対して、地域が抱える課題についてヒアリング調査(郵送配布・回収、電話補足調査)を実施。
- ◆ 計55社・団体から調査票を回収。

【表1】地域意見聴取内容

- ・対応方針を検討する際の重視すべき項目
- ・重視すべき理由や要望
- ・整備方針に関する意見・要望
- ・利用状況や問題点(第1回意見聴取からの変化)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ヒアリング調査は訪問形式ではなく、調査票の郵送配布・回収、電話による補足聞き取りにより実施

【図1】調査チラシ



【表2】ヒアリング調査で回答いただいた団体・企業

□ 第2回意見聴取で新たに追加した団体

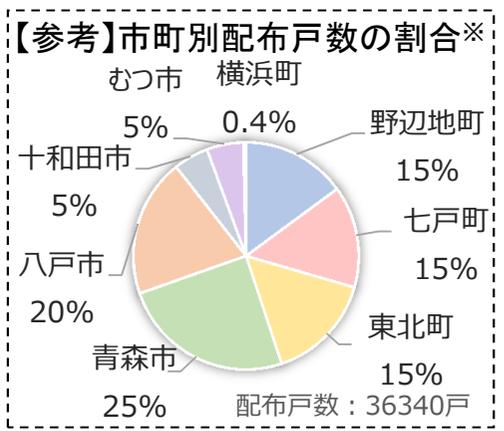
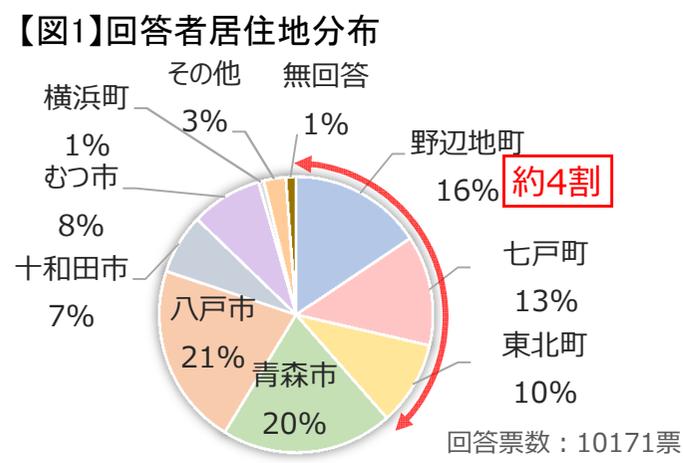
分類	No.	対象	所在地	分類	No.	対象	所在地	
市町村	1	野辺地町	野辺地町	消防機関	29	北部上北広域事務組合消防本部	野辺地町	
	2	七戸町	七戸町		30	中部上北広域事務組合消防本部	七戸町	
	3	東北町	東北町	警察機関	31	野辺地警察署	野辺地町	
	4	むつ市	むつ市		32	七戸警察署	七戸町	
	5	大間町	大間町		33	三八五バス(株)	八戸市	
	県	8	上北地域県民局	十和田市	バス事業者等	34	ニッポンレンタカー八戸駅東口営業所	八戸市
		9	JA十和田おいらせ 本店	十和田市		35	十和田観光電鉄(株)	十和田市
農業関連団体	10	JAゆき青森 野辺地支所	野辺地町	36		下北交通(株)	むつ市	
	11	野辺地漁業協同組合	野辺地町	37		青森県立野辺地高等学校	野辺地町	
漁業関連団体	12	小川原湖漁業協同組合	東北町	教育機関		38	八戸学院野辺地西高等学校	野辺地町
	13	むつ市漁業協同組合	むつ市			39	青森県立七戸高等学校	七戸町
	14	横浜町漁業協同組合	横浜町	40		ヤマト運輸(株) 青森主管支店	青森市	
林業関連団体	15	青森県森林組合連合会	青森市	41	(株)ニヤクコーポレーション 青森営業所	青森市		
木材加工業者	16	青森プライウッド(株)	六戸町	42	ホクブトランスポート(株) 青森支社	青森市		
製造業者	17	日本ホワイトファーム(株) 東北事業所	横浜町	43	(株)エネックス 東北支店青森営業所	青森市		
	18	野辺地町商工会議所	野辺地町	44	三八五流通(株)	八戸市		
商工会議所	19	東北町商工会議所	東北町	物流事業者	45	青森定期自動車(株)	青森市	
	20	七戸町商工会議所	七戸町		46	日本チルド物流(株)東日本事業部 青森事業所	おいらせ町	
トラック協会	21	青森県トラック協会	青森市		47	(株)東洋陸送社八戸営業所	八戸市	
	22	しちのへ観光協会	七戸町		48	三八五ロジステックス(株)	八戸市	
観光協会等	23	横浜町観光協会	横浜町		49	川内運送(有)	五戸町	
	24	むつ市観光協会	むつ市		50	(有) イシダ	むつ市	
	25	しもきたTABIアシスト	むつ市		51	(有) むつ中央トラック	むつ市	
医療機関	26	むつ市ジオパーク推進課	むつ市	52	コウメイ運輸(株)	むつ市		
	27	公立七戸病院	七戸町	53	デイサービスセンターはまなす	野辺地町		
	28	医療法人社団良風会 ちびき病院	東北町	54	社会福祉法人 美土里会	七戸町		
				55	ちびきデイサービスセンター	東北町		

2-5. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査) / 属性1

- ◆ 住民アンケートは、野辺地町、七戸町、東北町が約4割を占める。
- ◆ 事業者アンケートは、野辺地町、七戸町、東北町が約4割を占める。
- ◆ 両アンケート共に青森市や八戸市等の周辺の主要都市からの回答割合も3～4割を占める。

あなたについてお聞かせください (住所)

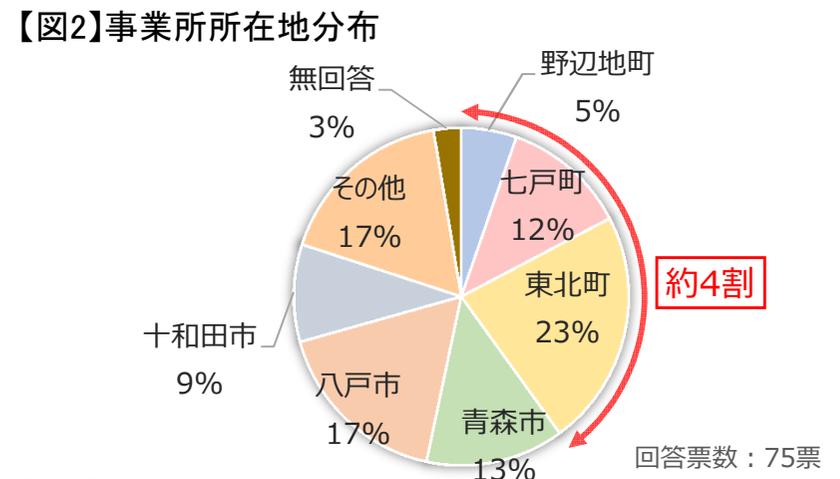
住民アンケート



【表1】調査手法別回答数

市町村	回答数				構成割合
	郵送	留置	WEB	合計	
野辺地町	1,268	221	105	1,594	16%
七戸町	1,166	43	105	1,314	13%
東北町	844	86	75	1,005	10%
青森市	1,701	30	330	2,061	20%
八戸市	1,811	27	335	2,173	21%
十和田市	520	81	116	717	7%
むつ市	636	30	190	856	8%
横浜町	42	17	5	64	1%
その他	17	43	203	263	3%
不明・無回答	82	8	34	124	1%
合計	8,087	586	1,498	10,171	100%

事業者アンケート



【表2】アンケート回収状況

市町村	配布数 (枚)	回収数 (枚)	構成割合
野辺地町	15	4	5%
七戸町	23	9	12%
東北町	23	17	23%
青森市	21	10	13%
八戸市	27	13	17%
十和田市	8	7	9%
その他	26	13	17%
不明・無回答	0	2	3%
合計	143	75	100%

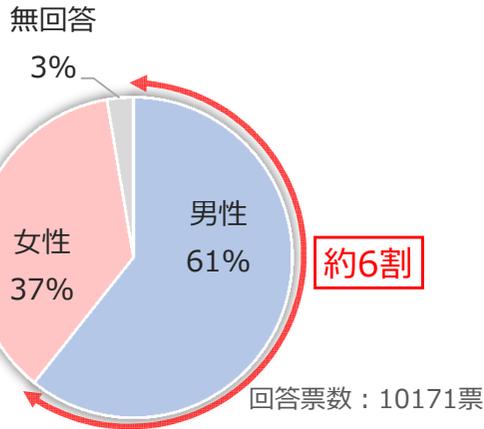
2-5. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査) / 属性2

- ◆ 住民アンケートの属性は、性別は男性が約6割、年齢構成は30～50代が約5割、職業は就業者が約6割を占めた。
- ◆ 事業者アンケートの属性は、業種は、「運送業」が約6割であった。
- ◆ 第1回アンケートにも回答した方は、住民アンケートにおいて約3割となった。

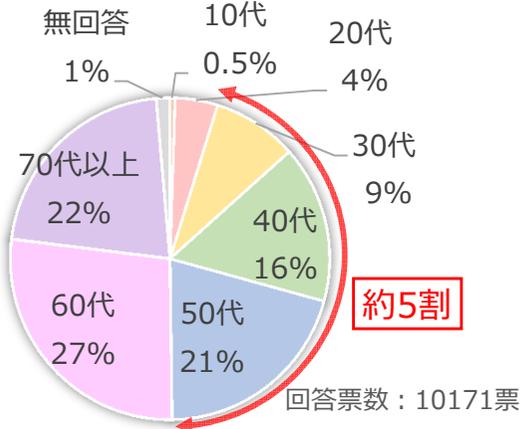
あなたについてお聞かせください (住民：性別、年齢、職業、第1回アンケートへの回答 事業者：業種)

住民アンケート

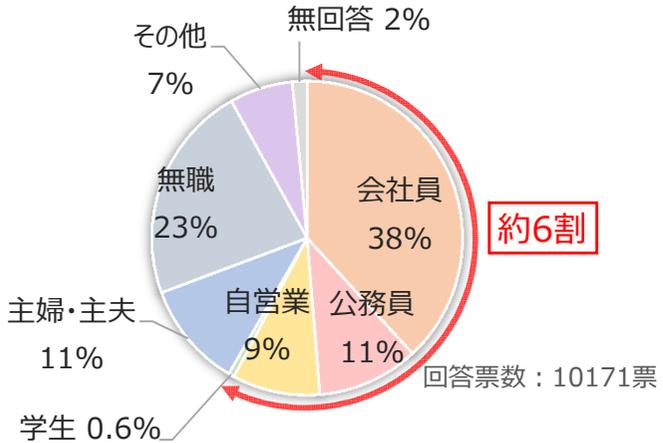
【図1】性別



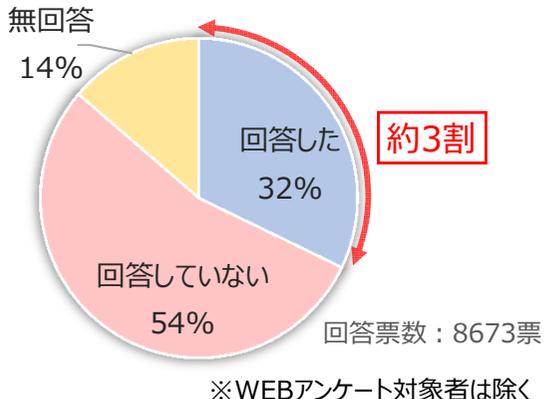
【図2】年齢



【図3】職業

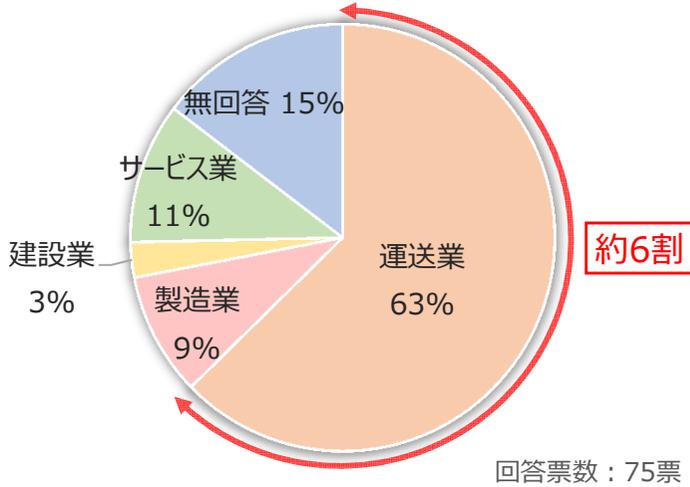


【図4】第1回アンケートへの回答



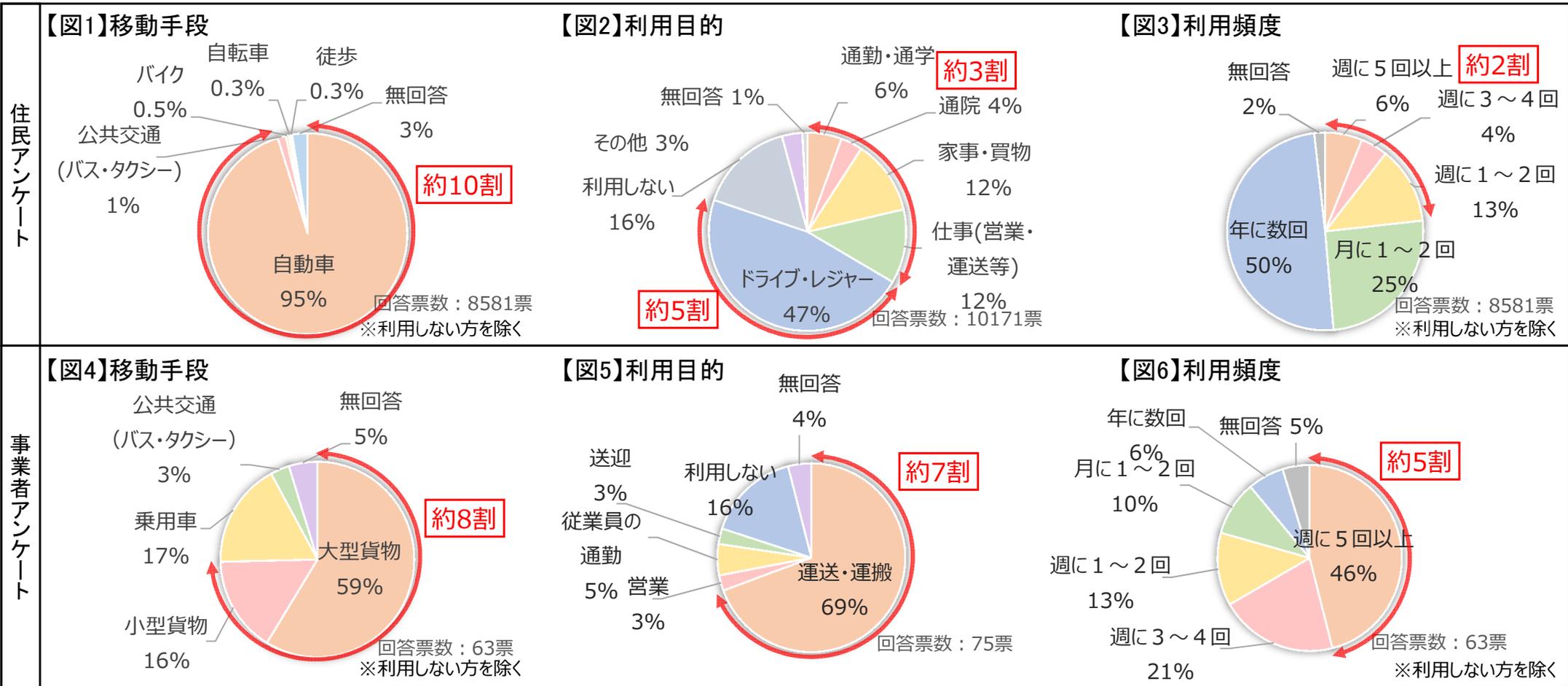
事業者アンケート

【図5】業種



- ◆ 移動手段は、住民アンケートは自動車はほぼすべてを占め、事業者アンケートは貨物車が約8割を占める。
- ◆ 利用目的は、住民アンケートは日常の利用が約3割、非日常の利用が約5割となった。事業者アンケートは運送・運搬が約7割を占めた。
- ◆ 利用頻度は、住民アンケートは週1回以上の利用が約2割、事業者アンケートは週5回以上の利用が約5割を占めた。

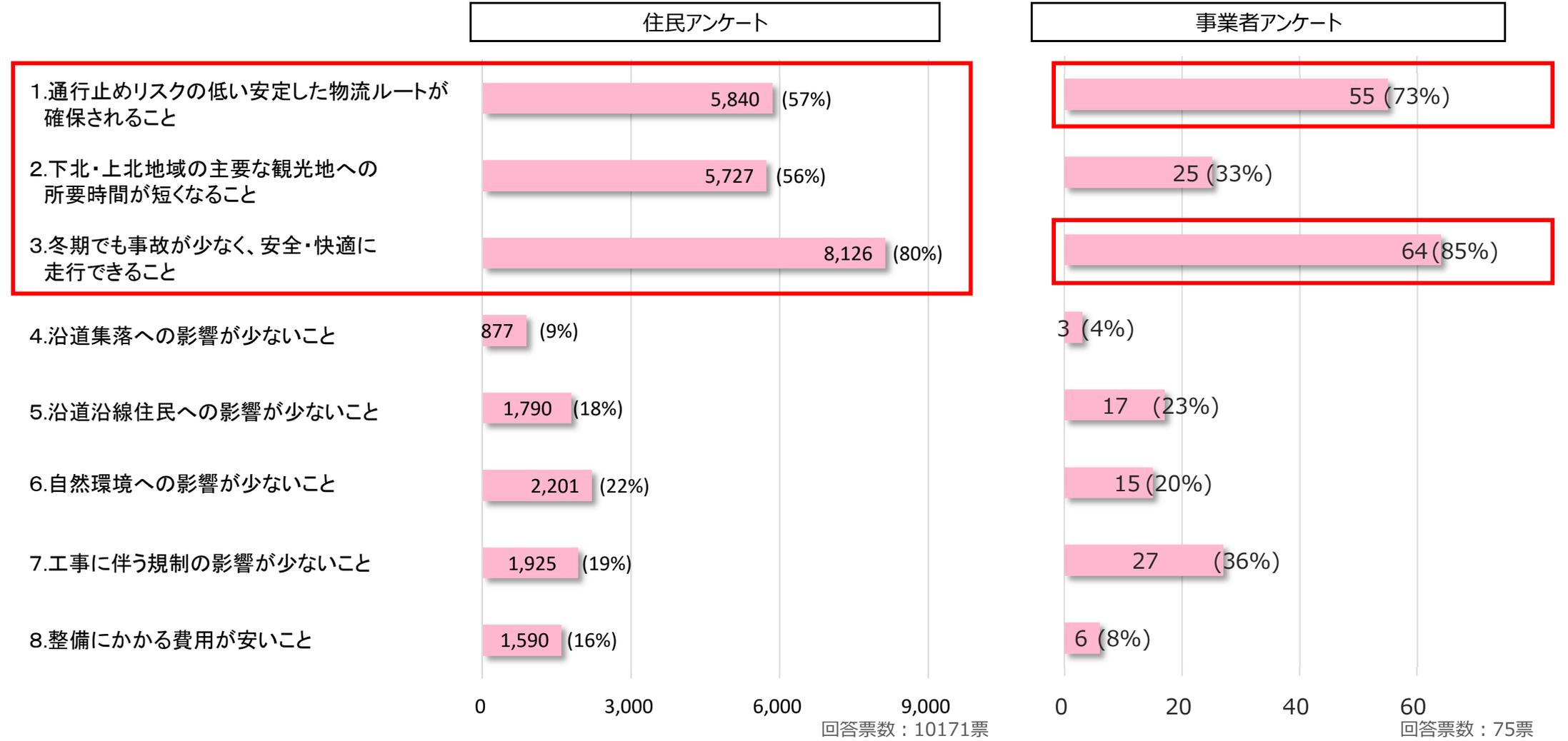
問1. 国道4号(検討区間)の道路利用について、お伺いします。



2-5. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査) / 重視すべき項目

- ◆ 対策案を検討する際に特に重視すべき項目について、住民アンケートでは「冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること」が最も多く、次いで「通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること」、「下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること」の順に多い結果となった。
- ◆ 事業者アンケートでは、「冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること」や「通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること」の選択割合が住民アンケートに比べて高い結果となった。

問2. 対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。



2-5. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査) / 重視すべき理由

- ◆ 重視すべき理由として、物流に関して、「冬期をはじめとした通行障害リスクの低減」等に関する意見を頂いた。
- ◆ 観光に関して、「下北・上北地域へのアクセス性向上」等に関する意見を頂いた。
- ◆ 走行環境に関して、「地吹雪や凍結等に対する冬期安全性、走行性向上」等に関する意見を頂いた。
- ◆ その他、「工事期間中の規制時間の短縮」や「整備費用の縮減」等に関する意見を頂いた。

問3. 問2で○をつけた項目について、そう思われる理由について、ご自由にお書きください。

項目	主な意見
通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること 【5895件】(住民5840件、事業者55件)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸～下北への安定したルート確保のため、高規格であることが望ましいと考える。【住民】 ・冬期積雪の多い地域であることから通行障害のリスクが大きいので、安定的物流ルートは必須。【住民】 ・下北から一本筋に自動車専用道路により高速道路に直接アクセスできることによる利便性で物流も交通もスムーズにできるから。【住民】 ・1ルートのみではなく複線的なルートの確保が必要。特に冬期間は通行止めのリスクがある。【住民】 ・通行止めのリスクが低いのは、重視すべきと思います。災害の多い昨今、物流のルート確保は必要。【住民】 ・エネルギー輸送を行っているため、荷主からは安定した車両運行を求められる。【運送業】 ・現状一本しか道路の選択肢かない【運送業】
下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること 【5752件】(住民5727件、事業者25件)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に運行ができ所要時間も短くなることにより、観光地など各地域の活性化につながれば良いと思います。【住民】 ・素晴らしい観光地があるのに、交通の便が悪くもったいないと思います。所要時間が短くなれば観光客増加も期待できる。【住民】 ・新幹線駅である七戸十和田駅から下北へ繋がる道路があることで、観光客が下北地方へ足を運びやすいと思う。【住民】
冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること 【8190件】(住民8126件、事業者64件)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期に野辺地町から天間林にかけて、地吹雪等で運転に支障があるときがあるから。【住民】 ・地吹雪等で通行止めが発生しやすい冬季は、高規格道路と国道4号(元道)とのダブルネットワークが必要だと感じるため。【住民】 ・上北郡(地区)は、冬季の地吹雪が厳しく自動車走行に支障をきたすことがある。冬季の夜間でも安全に走行できることが要求される。【住民】 ・冬期はホワイトアウトが発生したり、厳しい環境なので安全に走行できる道路として頂きたい。【サービス業】
沿道集落への影響が少ないこと 【880件】(住民877件、事業者3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・集落や住民への影響が少なく、工事の影響が少ない方が良い、安全な方が良い。【住民】 ・沿線住民が安心して暮らせるよう、生活道路と物流ルートの分離が必要と考えるため。【住民】
沿道沿線住民への影響が少ないこと 【1807件】(住民1790件、事業者17件)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の地域住民、沿線の住民への影響と現在道路利用者への影響を少なくすることを優先すべきである。【住民】 ・整備費用もさることながら、安全・快適に走行出来、沿線住民への影響が少ない事が最重視。【住民】
自然環境への影響が少ないこと 【2216件】(住民2201件、事業者15件)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に配慮しつつ、人の流れや物流が滞らないよう道路を整備することにより、地域の経済が回るようにしてほしいため。【住民】 ・自然を守り維持しながら、安心して走行できる道路であって欲しいです。【住民】
工事に伴う規制の影響が少ないこと 【1952件】(住民1925件、事業者27件)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中においても規制時間がないバイパスでの整備が良いと思います。【住民】 ・冬季期間吹雪で走行しづらいのに工事で規制がかかるさらに危険だから。【住民】
整備にかかる費用が安いこと 【1596件】(住民1590件、事業者6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備費用を抑えながらも迅速に工事を進めるべきと考えます。【住民】 ・コスト縮減に取り組み、あまり整備費用をかけずに効果を出すことが重要だと考えます。【住民】

2-5. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査) / その他の意見

- ◆ その他意見として、線形不良の改善や道路幅員の確保など「道路構造・施設・設備に関する意見」が多く寄せられている。
- ◆ また、みちのく有料道路等の周辺道路との接続に関する意見が寄せられている。
- ◆ その他、現道の課題を踏まえた整備方針に関する意見も寄せられている。

問4. 問2で○をつけた項目以外で、重視すべきと思われることがありましたら、ご自由にお書きください。

項目	主な意見
整備方針に関する意見 【470件】(住民460件、事業者10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車専用道路で、全国とつながっているかが重要であり、別線整備案が必須だと思われる。【住民】 ・冬期間降雪による通行止めの際でも、別線整備案により道路が二本有ればスムーズな交通が維持される。【住民】 ・現状は国道4号しか道路の選択肢がない。【事業者】 ・別線整備による維持管理費用の増加も十分考えられる。現道路の全面4車線化等の方が地域の活性化になるのではないかと。【住民】 ・ドライバーにとっても、道路が悪路な場合はストレスになり易くなったりするので、安全に走行できる道路づくりをしてほしい。【住民】 ・青森県内のすみずみの市町村、観光地へ安全・快適に行けるように整備してもらいたい。【住民】
早期整備に関する意見 【298件】(住民298件、事業者0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・工期を短縮してほしい、早期完成をお願いする。【住民】 ・下北半島地域は、日本のエネルギー供給に欠かせない地域です。国土交通省と経済産業省がしっかり認識し、連携してこの地域の道路整備を着実、早期に進めることが重要です。【住民】
道路構造・施設・設備に関する意見 【825件】(住民821件、事業者4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・みちのく有料道路との接続をしっかり考慮して頂きたい。【住民】 ・下北縦貫、東北縦貫八戸線、みちのく有料が接続することにより、3方面それぞれに経済面の効果がある。【住民】 ・カーブや起状の少ない道路が必要。【住民】 ・冬期の道路幅員確保と、路肩位置を判りやすくしてほしい。吹雪等で見えなくなる。【住民】 ・大型の車両なので、待避所や休憩所があると乗務員が運転しやすくなると思う。【事業者】
維持管理に関する意見 【276件】(住民273件、事業者3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期のメンテナンス(凍結防止、除雪、穴対策)が重要。【住民】 ・冬期の吹雪対策をしっかりやれば安全に安心して通行できる。【住民】 ・除雪対策をしっかり行ってほしい。【事業者】
整備費用に関する意見 【227件】(住民227件、事業者0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・完了後のメンテナンス費用、除排雪費、道路維持費を安くできるほうが良い。【住民】 ・多額の費用が掛かる事業のため、しっかりと効果が上がるようにするべきだと思います。【住民】
当該区間及び国道4号の重要性に言及した意見 【300件】(住民300件、事業者0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の交流も容易となり、地域住民の生活安定度を高めてくれる。観光発展も期待できる。【住民】 ・避難ルートの確実な確保の点でも重要と思います。【住民】 ・新幹線駅である七戸十和田駅へのアクセスが最も重要です。災害などでの交通の確保の視点でも道路整備が必要。【住民】
道路整備に否定的な意見 【26件】(住民26件、事業者0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路ではなくコロナ対策にお金をかけるべき。【住民】 ・開通した後の経費、維持費がかさむのではないのでしょうか。それより先にコロナを無くす方に全力でやったらいいじゃないでしょうか。【住民】
その他(現道課題への意見、要望など) 【768件】(住民762件、事業者6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・雪による通行止めが大きな問題であったが、このような事態にならないよう期待したい。【住民】 ・所要時間の短縮が労働時間の短縮になる。【事業者】

2-6. 第2回意見聴取の結果(企業・関係機関ヒアリング) / 重視すべき理由

17

- ◆ 重視すべき項目として、「冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること」「通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること」「下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること」等への意見が多く寄せられた。
- ◆ 物流に関して、「冬期通行止めによる企業活動、サプライチェーンへの影響」等に関する意見を頂いた。
- ◆ 観光に関して、「移動時間短縮による観光客の増加や観光地の滞在時間の増加への期待」等について意見を頂いた。
- ◆ 走行環境に関して、「通行止め時の代替性の確保」「冬期視界不良、凍結時の安全性の確保」等について意見を頂いた。

問. 対策案を検討する際に重視すべきと思われる項目とその理由について教えてください。

項目	主な意見
通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること 【34団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道4号は物流の大動脈であり、通行止めとなった場合の影響は大きい。【トラック協会】 ・冬期間の通行止めは多大な影響が生じ安全、安定の物流が保てない為。【運送業】 ・サプライチェーンのほか、医療や観光、災害、事故等さまざまな代替機能の確保が可能となる。【商工会】 ・半島地域における主要道路の通行止めは、「陸の孤島」化を招き、多大な影響があることから、代替機能の確保は必須である。【むつ市】
下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること 【26団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・下北地域の観光において、移動時間の長さがネックとなっていることから、高速道路ネットワークの確立が強く望まれる。【むつ市】 ・移動時間の短縮により、観光地での時間が増え賑わい等現地の利益が増すとされるため。【東通村】 ・下北半島縦貫道路と上北道、みちのく有料道路が高速交通体系で結ばれることによって利便性が高まり、交流人口の増大も期待され、半島振興にも繋がる。【商工会】 ・下北地域の弱点として「移動に時間がかかる」ことが挙げられ、その弱点を解消できる。【観光協会等】 ・観光地への正確な所要時間や見学場所の選択肢が広がる。【観光協会等】
冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること 【42団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪により国道4号の一部区間が通行止めになった際の迂回路にもなるため。【野辺地町】 ・この区間は積雪量も多く、地吹雪にもなりやすいため、視界不良による渋滞をおこし、緊急車両の通行や物流面等で多大な影響が生じる。【七戸町】 ・近年異常気象が多く、立ち往生が発生する事がある。特に冬期は視界も悪くなる為対策が必要である。【東通村】 ・冬季は凍結等により事故の確率も高く運転にも非常に気をを使うので、融雪設備等設置されていれば運転が楽になるため。【森林組合】 ・整備により坂道やカーブを減らすことができれば冬期間の事故削減につながる。【トラック協会】
沿道集落への影響が少ないこと 【6団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な生活環境を確保するためには、集落を通過する現道改良ではなく、別線整備が必要である。【むつ市】 ・集落等住居地域を避けて通ることから、事故等のリスクが軽減され、生活環境の改善も図られる。【七戸町商工会】 ・当院は地域の病院である為、近隣の住民が多く車で通院している。【医療機関】
沿道沿線住民への影響が少ないこと 【7団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・下北半島縦貫道路への沿線住民のアクセス性も大切な事項ではあるが、安全な生活環境、事故リスクの低減を優先すべき。【むつ市】 ・騒音、振動、大気質に係る諸問題が生じることにより住民の身体的、精神的な負担が増加するため。【地域県民局】 ・集落等住居地域を避けて通ることから、事故等のリスクが軽減され、生活環境の改善も図られる。【七戸町商工会】
自然環境への影響が少ないこと 【2団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・地形を生かした、自然への影響が少ない計画として欲しい。【教育機関】
工事に伴う規制の影響が少ないこと 【13団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・七戸～野辺地間のルートは国道4号がメインであるため、現道での長期間の工事により規制を行えば渋滞を招き、緊急車両や物流面等で多大な影響が生じる。【七戸町】 ・国道4号線は物流の大動脈であり、工事中の通行規制は少ないほうが良い。【トラック協会】 ・既存道の拡張工事は、規制が長期間になると思われ、期間内に訪れる来訪者にとっては、目的地へ到着する前に精神的に疲弊すると予想される。これらの要因により、リピーターの減、来訪者の印象の悪化は、地域経済への影響は計り知れないものになると考えられる。【観光協会等】
整備にかかる費用が安いこと 【2団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者の時間短縮、距離が減る事、アクセルワークが安定し、燃費向上につながる。【物流事業者】 ・コロナ禍でどの事業(業種)も困難な経営のなか、土木事業の費用を抑え、他に回すべき。【福祉事業者】

- ◆ 企業・関係機関ヒアリングでは、道路構造、道路線形に関する意見が多く寄せられた。
- ◆ また、天間林道路や下北縦貫道等の周辺幹線道路網との連続性に配慮すべきとの意見も寄せられた。

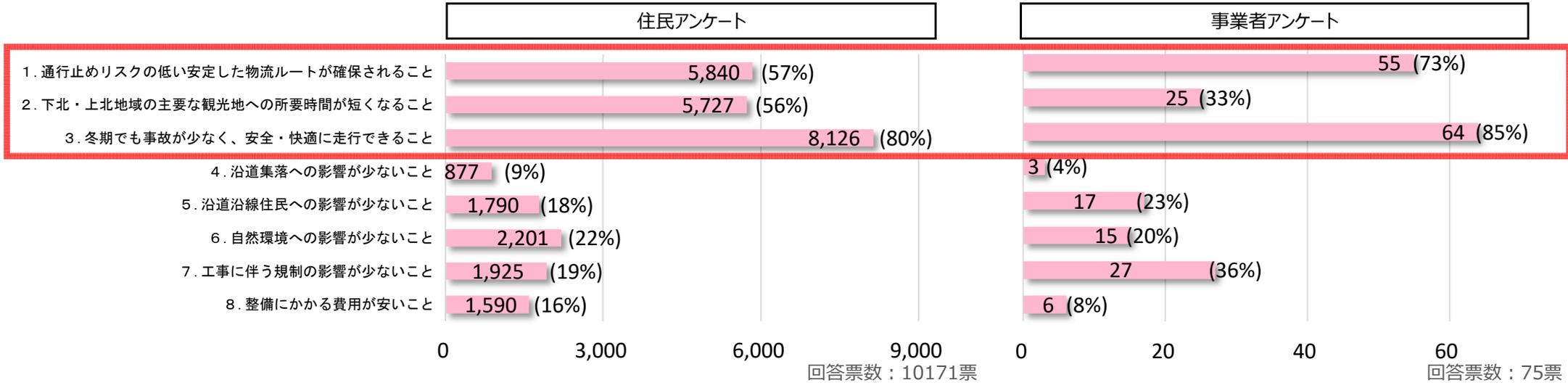
問. その他、整備方針を検討する上で配慮すべき項目等あれば教えてください。

項目	整備方針を検討する上で配慮すべき項目など
整備方針検討時の配慮事項に関する意見 【25団体】	<p>【道路構造、道路線形に関する要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七戸～野辺地間のルートは<u>国道4号がメイン</u>となっており、不測の事態により<u>国道4号が通行できなくなった場合、様々な影響が生じる</u>ことになる。また、工事期間も長期にわたると思われるので、別線整備ルートにすることにより、工事期間中の七戸～野辺地間の通行に影響をあたえることが少なくなる。【七戸町】 ・別線整備ルートの方が、<u>目的地が遠方の人と生活道路との利用者のすみ分け</u>ができて、事故の防止にも役立つと思う。【森林組合】 ・<u>下北縦貫道の供用部分と天間林道路との連続性</u>を考えると、別線整備とした方が<u>自動車専用道として一定の走行環境、速度を確保</u>できるため、<u>運転者の心理的負担軽減からくる事故の減少や、定時性の確保による安定した輸送が可能</u>となる。【トラック協会】 ・交通事故リスクの低減や現道交通への影響面から、「別線整備ルート案」を支持する。【警察】 ・<u>施工時の交通規制による現道交通への影響、速達性、通行止め時の代替機能</u>等の視点から、A案の別線整備ルートの方が良いと思う。【高等学校】 ・整備費用は良くわからないが、整備を進める為には、優先すべきは、リスクを無くす事だと思います。色々な意見は有ると思いますが、最善の答を導き出して下さい。【物流事業者】 ・<u>コスト面や自然環境への影響</u>を考慮すれば、<u>現道改良ルートが妥当</u>だと思われる。【高等学校】 ・<u>安定した速度で、安全に運行できれば、効率はUP</u>します。<u>直線が多く、高低差、曲がりの少ない道路</u>をつくってください。【物流事業者】 ・冬期間のみちのく有料道路の危険性を考慮すると国道4号（青森～野辺地）の整備も検討して頂ければと考えます。【物流事業者】 <p>【当該道路のアクセス利便性に関する要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要所要所に緊急車両の出入り口が設定されると活動時間の短縮になります。【消防機関】 <p>【早期整備に関する要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の道路建設においては、特に<u>新幹線駅である「七戸・十和田駅」のエリアにも近い</u>ため、<u>下北地域だけでなく、青森県全体の観光面にも良い影響を与える</u>。いろいろ時間がかかるのは承知であるが、ぜひ早期完成を目指して欲しい。【観光協会等】 ・下北縦貫道のホワイトアウトを防ぐ柵を付けてほしい。とにかく、むつ市～横浜町の縦貫道を早く行ってほしいです。【物流事業者】

2-7. 第2回意見聴取の結果とりまとめ

- ◆ ルート帯選定時に重視すべき項目として、「冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること」、「通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること」、「下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること」が求められている。
- ◆ 計画検討にあたり配慮すべき項目として、「工事に伴う規制の影響が少ないこと」、「沿線住民への影響(交通機能分担の適正化)」、「周辺道路との連続性」が求められている。

アンケート調査 | ルート帯選定時に重視すべき項目



企業・関係機関ヒアリング | 計画検討にあたり配慮すべき項目

・上記3つの地域課題に関する項目以外で、道路計画検討に配慮すべき項目として、以下のような意見が見られた。

<p>■ 工事に伴う規制の影響が少ないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期間の工事により規制を行えば渋滞を招き、緊急車両や物流面等で多大な影響が生じる。【七戸町】 ・国道4号線は物流の大動脈であり、工事中の通行規制は少ないほうが良い。【トラック協会】 	<p>■ 沿線住民への影響（交通機能分担の適正化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故の防止等に向けて、目的地が遠方の人と生活道路との利用者のすみ分けをすることが必要。【森林組合】 ・集落等住居地域を避けて通ることから、事故等のリスクが軽減され、生活環境の改善も図られる。【商工会】 	<p>■ 周辺道路との連続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転者の心理的負担軽減からくる事故の減少や、定時性の確保による安定した輸送を行うため、下北縦貫道の供用部分や天間林道路との連続性を考慮し、自動車専用道として一定の走行環境、速度を確保する必要がある。【トラック協会】
---	---	--

3. 対応方針(原案)の検討

3-1. ルート帯案の検討(政策目標)

- ◆ 当該地域の道路交通状況や、地域の課題等を踏まえて政策目標を設定し、これを達成するための機能を有する対策案を複数設定。
- ◆ 対策案を検討する上では、沿線住民の生活環境、沿道環境、土地利用や自然環境、周辺施設への影響、コストなどに配慮。

○当該地域の政策目標

地域・道路の状況と課題

地域の将来像

住民や企業等への
意見聴取結果



政策目標

以下の項目を目的に、安全かつ快適な移動の実現を図ると共に、物流、観光振興を支援する道路ネットワークの確保

- 安定した物流を支えるルートの確保
- 広域観光を支えるルートの確保
- 道路走行環境の改善

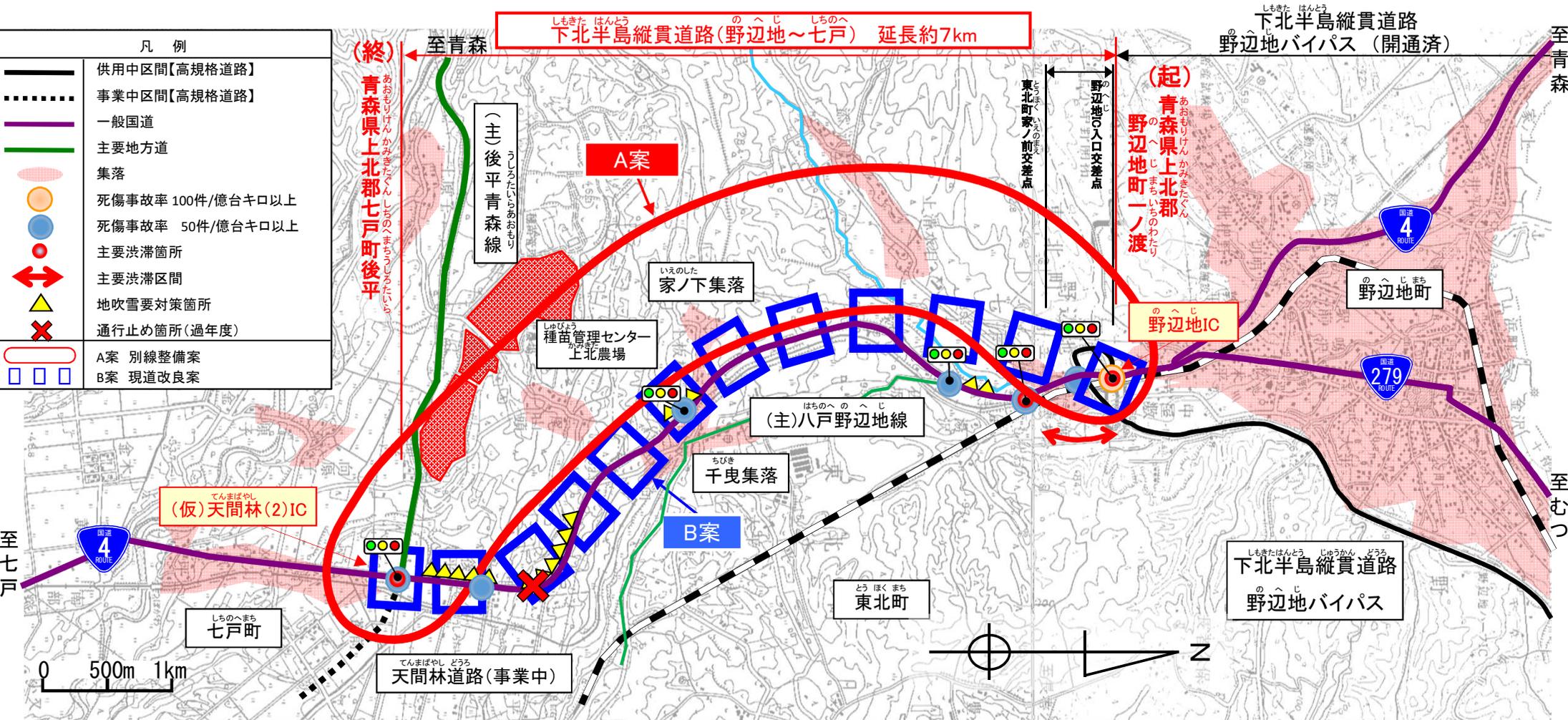
○対策案を検討する上での配慮事項

- 生活環境
 - 現道沿線住民への影響
- 沿道環境
 - 沿線出入への影響
- 自然環境
 - 地形・自然環境の改変
- 工事の影響
 - 現道交通への影響
- 経済性
 - 整備に関する費用

3-1. ルート帯案の検討(対策案)

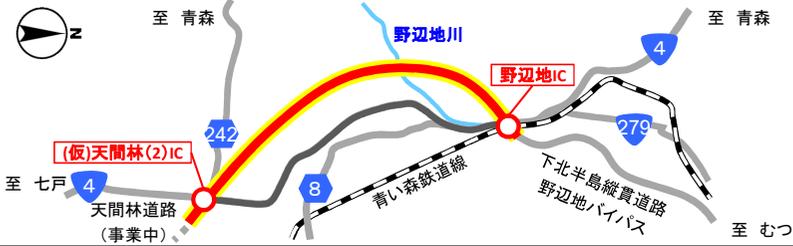
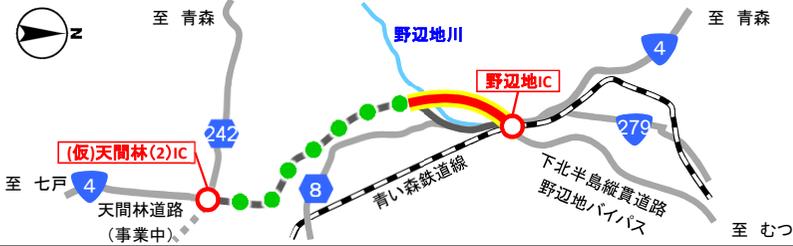
◆ 政策目標を達成するための対策案について、主要なコントロールポイントに配慮し2案を設定。

- 【A案】別線整備案：バイパス整備により、現道課題の解消を図る案（全線別線・立体交差）
- 【B案】現道改良案：現道の4車線拡幅および一部別線整備により、現道課題の解消を図る案（現道改良、一部バイパス整備）



3-1. ルート帯案の検討(複数案の比較・評価)

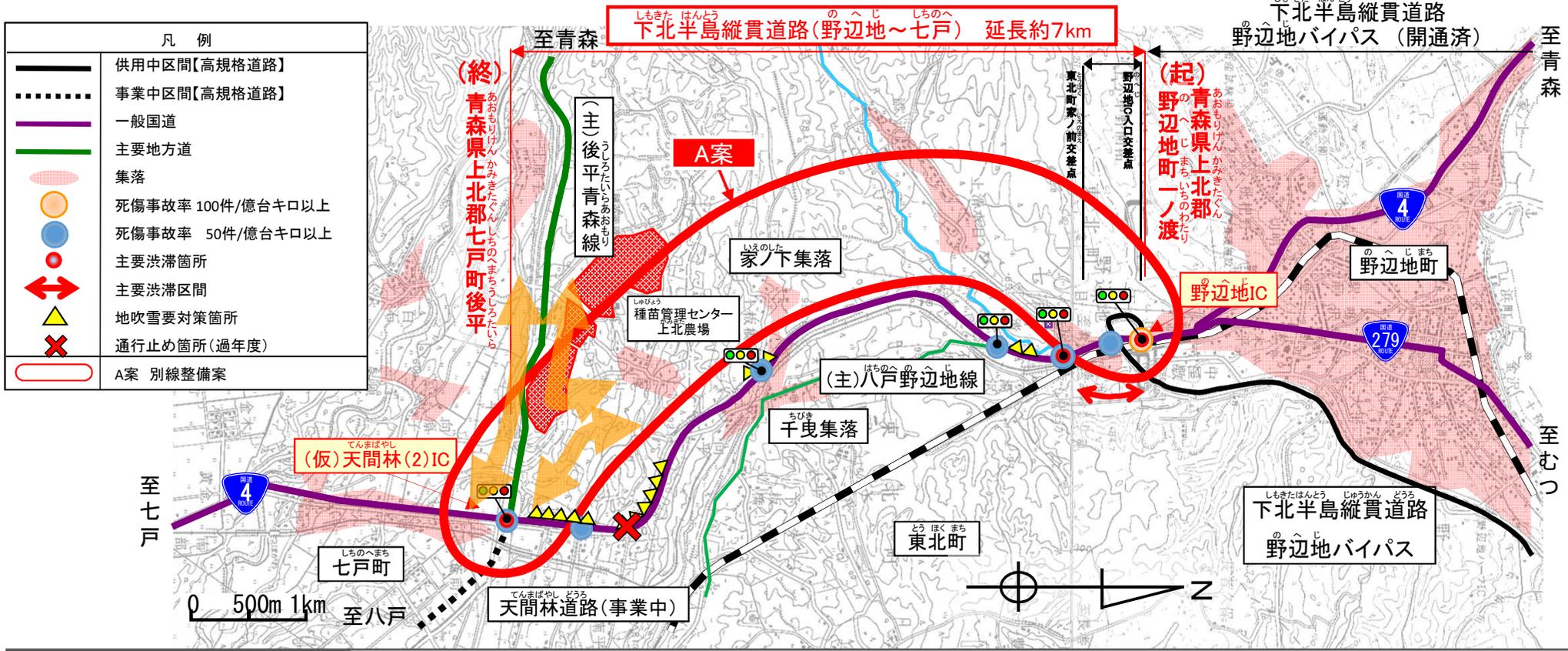
- ◆ 地域の意見聴取では、重視すべき項目として「道路走行環境の改善」への意見が多く寄せられた。
- ◆ 3つの政策目標「安定した物流を支えるルートの確保」「広域観光を支えるルートの確保」「道路走行環境の改善」、生活環境等の視点では、A案「別線整備案」が優れている。

比較項目			【A案】別線整備案		【B案】現道改良案	
ルートの概要			バイパス整備により、現道課題の解消を図る案 (全線別線・立体交差)		現道の4車線拡幅および一部別線整備により、現道課題の解消を図る案 (現道改良、一部バイパス整備)	
整備イメージ		現道				
		現道改良区間				
		バイパス区間				
延長			約7 km		約7 km	
設計速度			80km/h		60km/h	
政策目標	産業・物流	安定した物流を支えるルートの確保	◎	・全線が別線で整備されることにより、災害・事故による通行止め時に代替機能が確保される	○	・4車線整備により、通行止めリスクが低減するが、代替機能は確保されない
	観光	広域観光を支えるルートの確保	◎	・別線を整備することにより沿道の出入り交通や信号交差点を回避するため速達性が優れる	○	・現道改良のため、沿道の出入り交通や信号交差点が残り、A案より速達性が劣る
	交通	道路走行環境の改善	◎	・別線整備により、死傷事故率が高い箇所を全て回避し、事故リスクが大幅に低減する	○	・上り、下りを分離することにより、正面衝突事故等の事故リスクが大幅に低減するが、信号交差点が残るため、A案より走行環境に劣る
配慮すべき事項	生活環境	現道沿線住民への影響	◎	・現道の交通が減少するため、生活環境が改善される	○	・現道改良区間で集落等を通過するため、沿道家屋等への影響は改善しない
	沿道環境	沿道出入りへの影響	○	・出入箇所が起終点に限られるため、集落から本線へのアクセス性は劣る	◎	・沿道集落から本線へのアクセス性に優れる
	自然環境	地形・自然環境の改変	△	・全線バイパス区間となるため、山林地帯の改変が大きくなる	○	・現道改良となるため、山林地帯の改変は生じない
	工事の影響	現道交通への影響	○	・現道の工事は、接続部のみであるため施工時の現道交通への影響はほとんどない	△	・施工時に比較的長い区間で交通規制が必要となるため、現道交通への影響は大きい
	経済性	整備に関する費用*	-	約280~310億円	-	約250~280億円

◎：改善する・満足する、○：一部改善する・やや満足する、△：改善しない・満足しない

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

3-2. 対応方針(原案)の検討



沿線住民・沿線企業への意見聴取、企業・団体等へのヒアリングの主な意見

- 【ルート帯案について】
- アンケート調査及びヒアリング調査では、政策目標のうち「道路走行環境の改善」に関する意見が最も多く、「安定した物流を支えるルートの確保」、「広域観光を支えるルートの確保」に関する意見も多く寄せられた。

政策目標の達成見込み及びルート帯選定にあたって重視すべき項目について、意見聴取結果を踏まえて評価

ルート帯案の考え方

- 地域の課題を解決するための政策目標である「安定した物流を支えるルートの確保」、「広域観光を支えるルートの確保」、「道路走行環境の改善」に寄与し、対応策として最も優れている**A案「別線整備案」**とする。
- なお、**下北地域と上北・八戸地域、青森地域の相互の連絡性を向上するため接続方法を検討**する。

4. 自治体への意見照会結果

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
青森県	<p>一般国道4号 下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）（青森県上北郡野辺地町一ノ渡～青森県上北郡七戸町後平）の<u>対応方針（原案）</u>について同意します。</p> <p><u>下北半島縦貫道路は、東北縦貫自動車道八戸線と一体となって下北地域と三八上北地域、青森地域相互の生活圈並びに首都圏を結ぶ役割を果たす地域高規格道路であり、地域間の連携強化や農林水産業・観光産業等の発展、地域医療の強化等を支援する極めて重要な道路です。</u></p> <p>野辺地～七戸間は、主要渋滞箇所や死傷事故率が高い箇所を抱え、特に冬期においては幅員減少や路面凍結、地吹雪等による走行環境の悪化が課題であり、定時性、速達性、安全性の確保が必要となっています。</p>

青道第205号
令和3年6月22日

国土交通省
東北地方整備局長 殿

青森県知事 三村 申吾



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

令和3年6月17日付け国東整道一計第8号で意見照会のありました一般国道4号下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）（青森県上北郡野辺地町一ノ渡～青森県上北郡七戸町後平）の対応方針（原案）について同意します。

下北半島縦貫道路は、東北縦貫自動車道八戸線と一体となって下北地域と三八上北地域、青森地域相互の生活圈並びに首都圏を結ぶ役割を果たす地域高規格道路であり、地域間の連携強化や農林水産業・観光産業等の発展、地域医療の強化等を支援する極めて重要な道路です。

しかしながら、野辺地～七戸間は、主要渋滞箇所や死傷事故率が高い箇所を抱え、特に冬期においては幅員減少や路面凍結、地吹雪等による走行環境の悪化が課題であり、定時性、速達性、安全性の確保が必要となっています。

青森県としては、当該区間の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、青森地域と下北地域を結ぶネットワークにより地域活性化を図るものとして、みちのく有料道路前後の県道区間（七戸町柳平～七戸町志茂川原地内、青森市滝沢～青森市三本木地内）の機能強化に取り組みます。

現在国が調査を進めている下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）の整備に遅れることがないよう、整備中のゆずりあい車線と下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）とを結ぶ区間（七戸町柳平～七戸町下志多地内）の同時事業化を図るとともに、残るみちのく有料道路前後県道区間（七戸町下志多～七戸町志茂川原地内、青森市滝沢～青森市三本木地内）においても国と連携を密にして早期事業化に努めて参ります。

つきましては、下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）の一日も早い完成に向け、調査を促進されますよう、特段の御配慮をお願いします。

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
野辺地町	<p>一般国道4号 下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）（青森県上北郡野辺地町一ノ渡～青森県上北郡七戸町後平）の<u>対応方針（原案）</u>について同意します。</p> <p>当該路線は、下北地域と三八上北地域や青森地域、そして関東方面へ繋がるための重要な道路であり、物流や観光の経済的なネットワークや日常的な交通を担っています。</p> <p>しかしながら、渋滞や交通事故の発生、冬期の地吹雪等での交通障害など、安定した交通や安全・安心な移動が脅かされている区間でもあります。</p> <p>当町においては、主要生産物の一つであり地域ブランドとして定着している「野辺地葉つきこかぶ」や陸奥湾で育った「地まき養殖ホタテ」等を全国各地に出荷しており、特に安定した物流を支える道路としてその役割と早期完成に大きな期待を寄せております。</p> <p><u>下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）は、地域の課題を解決し、地域の産業発展に資する必要不可欠な道路と考えられます。</u></p>

野建水第 132 号
令和3年6月21日

国土交通省東北地方整備局長
梅野 修一 殿

野辺地町長 野村 秀雄



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和3年6月17日付け国東整道一計第8号で意見照会のありました、一般国道4号 下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）（青森県上北郡野辺地町一ノ渡～上北郡七戸町後平）の対応方針（原案）について同意します。

当該路線は、下北地域と三八上北地域や青森地域、そして関東方面へ繋がるための重要な道路であり、物流や観光の経済的なネットワークや日常的な交通を担っています。

しかしながら、渋滞や交通事故の発生、冬期の地吹雪等での交通障害など、安定した交通や安全・安心な移動が脅かされている区間でもあります。

当町においては、主要生産物の一つであり地域ブランドとして定着している「野辺地葉つきこかぶ」や陸奥湾で育った「地まき養殖ホタテ」等を全国各地に出荷しており、特に安定した物流を支える道路としてその役割と早期完成に大きな期待を寄せております。

下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）は、地域の課題を解決し、地域の産業発展に資する必要不可欠な道路と考えられます。

当町としては、当該区間の事業推進に全面的に協力して行きたいと考えております。

つきましては、下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）の一日も早い完成に向けて、調査を促進されますよう、特段のご配慮をお願いします。

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
七戸町	<p>国道4号 下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）（青森県上北郡野辺地町一ノ渡～青森県上北郡七戸町後平）の<u>対応方針（原案）について同意します。</u></p> <p>下北半島縦貫道路は、地域間の産業物流や広域観光のネットワークとして、また日々の住民の交通を担う道路として、下北地域と三八上北地域や青森地域及び首都圏を結ぶ重要な道路であります。</p> <p>当町にある新幹線七戸十和田駅は広域観光のゲートウェイとして機能しており、多くの観光客がここから県内各観光地へ向かうための重要な拠点として利用されています。</p> <p><u>当該道路は、現道の渋滞や交通事故、冬期の道路環境改善などの課題を解決し、下北地域への広域観光においてアクセス性の確保に大きな役割を果たすと考えられ、三八上北地域と下北地域との広域観光の活性化が期待されます。</u></p>



七建第168号
令和3年6月21日

国土交通省東北地方整備局長
梅野修一 殿

七戸町長 小又勉 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和3年6月17日付け国東整道一計第8号で意見照会のありました、国道4号 下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）（青森県上北郡野辺地町一ノ渡～青森県上北郡七戸町後平）の対応方針（原案）について同意します。

下北半島縦貫道路は、地域間の産業物流や広域観光のネットワークとして、また日々の住民の交通を担う道路として、下北地域と三八上北地域や青森地域及び首都圏を結ぶ重要な道路であります。

当町にある新幹線七戸十和田駅は広域観光のゲートウェイとして機能しており、多くの観光客がここから県内各観光地へ向かうための重要な拠点として利用されています。

当該道路は、現道の渋滞や交通事故、冬期の道路環境改善などの課題を解決し、下北地域への広域観光においてアクセス性の確保に大きな役割を果たすと考えられ、三八上北地域と下北地域との広域観光の活性化が期待されます。

当町としては、当該区間の事業推進に全面的に協力して参りたいと考えております。

つきましては、下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）の一日も早い完成に向けて、調査を促進されますよう、特段のご配慮をお願いします。

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
東北町	<p>国道4号 下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）（青森県上北郡野辺地町一ノ渡～青森県上北郡七戸町後平）の<u>対応方針（原案）について同意します。</u></p> <p>下北半島縦貫道路は、下北地域と三八上北地域や青森地域ならびに首都圏を結ぶ重要な路線であり、地域の物流や広域観光を担うとともに住民の日常的な交通も担う役割を果たしています。</p> <p>当該区間は、当町の主要幹線道路で沿道には集落や病院がありますが、上北自動車道や下北縦貫自動車道の整備に伴って交通量が増加し渋滞や交通事故が多くなっています。また、特に冬期は積雪による道路幅員の減少や地吹雪等で速度低下が発生し交通環境悪化が課題となっています。</p> <p><u>下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）により、交通の機能分担が図られ、安全・安心な道路になるとともに、地域の活性化が期待できると考えています。</u></p>



東北建設第255号
令和3年6月18日

国土交通省東北地方整備局長
梅野 修 一 殿

東北町長 長久保 耕 治



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和3年6月17日付け国東整道一計第8号で意見照会のありました、国道4号 下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）（青森県上北郡野辺地町一ノ渡～青森県上北郡七戸町後平）の対応方針（原案）について同意します。

下北半島縦貫道路は、下北地域と三八上北地域や青森地域ならびに首都圏を結ぶ重要な路線であり、地域の物流や広域観光を担うとともに住民の日常的な交通も担う役割を果たしています。

当該区間は、当町の主要幹線道路で沿道には集落や病院がありますが、上北自動車道や下北縦貫自動車道の整備に伴って交通量が増加し渋滞や交通事故が多くなっています。また、特に冬期は積雪による道路幅員の減少や地吹雪等で速度低下が発生し交通環境悪化が課題となっています。

下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）により、交通の機能分担が図られ、安全・安心な道路になるとともに、地域の活性化が期待できると考えています。

当町としては、当該区間の事業推進に全面的に協力して行きたいと考えています。

つきましては、下北半島縦貫道路（野辺地～七戸）の一日も早い完成に向けて、調査を促進されますよう、特段のご配慮をお願いします。

5. 対応方針(案)のまとめ

5-1. 対応方針(案)

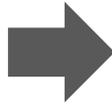
1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- 安定した物流を支えるルートの確保
- 広域観光を支えるルートの確保
- 道路走行環境の改善



【地域の意見聴取結果】

国道4号の課題	○道路利用者の意見から、「産業・物流」「観光」「走行環境」などの課題を整理。
道路整備の必要性	○住民や企業など、回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。
ルート検討において重視すべき事項	○地域が感じているルート検討において重視すべき項目は「道路走行環境の改善※」が多い。 ※冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること
自治体の意見	○青森県・野辺地町・七戸町・東北町から、案に賛成すると共に、早期事業化を要望する意見をいただいている。

2. 対応方針 (案)

◆計画及びルート帯案

地域の課題を解決するための政策目標に寄与し、対応策として最も優れている【A案】別線整備案とする。

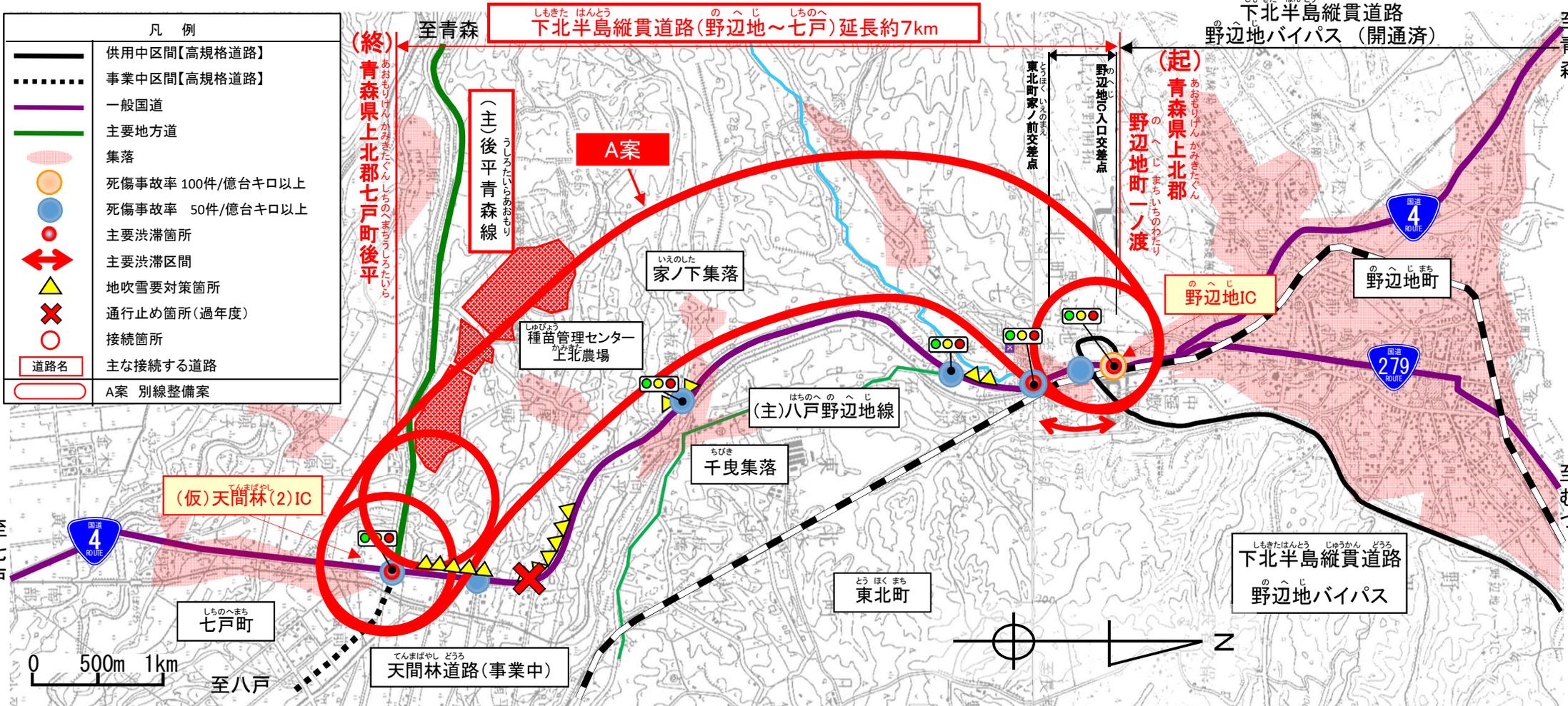
【理由】

- 地域の課題を解決するための政策目標(「安定した物流を支えるルートの確保」、「広域観光を支えるルートの確保」、「道路走行環境の改善」)を達成。
- 地域の意見聴取結果で得られた多くの地域のニーズに応えられる。
- 現道沿線住民への影響や、工事期間中の現道交通への影響等において、現道改良案よりも優れる。

◆周辺道路との接続については、路線特性・交通需要を踏まえた上で構造を検討する。

5-2. 対応方針(案)まとめ

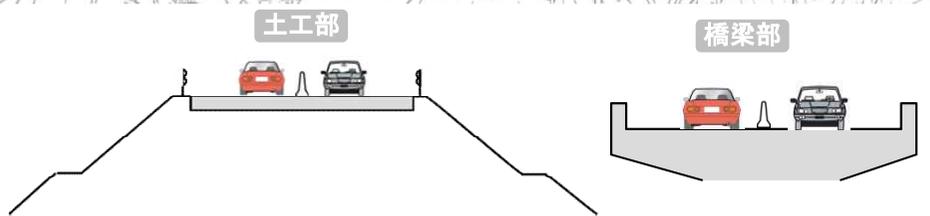
◆ 計画及びルートについては、「安定した物流を支えるルートの確保」、「広域観光を支えるルートの確保」、「道路走行環境の改善」に寄与するA案「別線整備案」とする。



凡 例	
	供用中区間【高規格道路】
	事業中区間【高規格道路】
	一般国道
	主要地方道
	集落
	死傷事故率 100件/億台キロ以上
	死傷事故率 50件/億台キロ以上
	主要渋滞箇所
	主要渋滞区間
	地吹雪要対策箇所
	通行止め箇所(過年度)
	接続箇所
	道路名
	A案 別線整備案

■ 整備概要

延長	約 7 km	設計速度	V=80km/h
構造	土工、橋梁等	コスト	約280~310億円



【参考】 第2回アンケート回収状況

- ◆ 地域住民アンケートの回収状況を市町別で見ると、むつ市や十和田市、横浜町等で21～24%と回収率が高い。
- ◆ 全戸配布をした沿線3町の回収率は、10～15%となっている。

【表1】アンケート調査票の回収状況

市町	広報紙・抽出郵送配布			【参考】回収数			
	配布数	回収数※1	回収率※1	広報紙・抽出郵送配布※2	留置き	WEB	計
野辺地町	5,436	791	15%	1,268	221	105	1,594
七戸町	5,273	738	14%	1,166	43	105	1,314
東北町	5,601	570	10%	844	86	75	1,005
青森市	9,000	1,159	13%	1,701	30	330	2,061
八戸市	7,160	1,319	18%	1,811	27	335	2,173
十和田市	1,820	380	21%	520	81	116	717
むつ市	1,910	456	24%	636	30	190	856
横浜町	140	30	21%	42	17	5	64
その他	-	-	-	17	43	203	263
無回答	-	-	-	82	8	34	124
計	36,340	5,443	15%	8,087	586	1,498	10,171

※1 アンケートにはハガキを2枚添付、回収数・回収率は、配布したアンケートのうち1枚目の回収数・回収率
 ※2 1枚目、2枚目を合計した数